

責任あるパーム油調達方針 進捗レポート

2023 年 1 月～6 月



目次

編集方針	p.2
目指す姿	p.3
進捗状況	p.4-17
実績データ	p.5
1. トレーサビリティ	p.6
2. パルマジュ社サプライチェーン改善活動(マレーシア)	p.7
A. 「搾取ゼロ」実践のための取り組み(LTP)	
B. 自己評価ツール	
C. 「森林破壊ゼロ」実践のための取り組み	
3. RSPO 認証油の取り扱い	p.8
4. グリーバンスメカニズム	p.9
5. APT ランドスケープイニシアチブ(インドネシア/マレーシア)	p.10-15
6. 小規模農家支援(マレーシア)	p.16-17
お知らせ	p.18

編集方針

本レポートについて

本レポートは、NDPE(No Deforestation, No Peatland Development and No Exploitation)達成に向け、原則 2023 年 1 月から 2023 年 6 月までに実施したトレーサビリティ確保とサプライチェーン改善活動の進捗状況を報告しています。なお、年次で報告するサステナビリティレポートの中間報告として作成しています。

1. トレーサビリティ
2. パルマジュ社サプライチェーン改善活動(マレーシア)
3. RSPO 認証油の取り扱い
4. グリーバンスメカニズム
5. Areas for Priority Transformation(APT)ランドスケープイニシアチブ(インドネシア/マレーシア)
6. 小規模農家支援(マレーシア)

目指す姿

不二製油グループ 責任あるパーム油調達方針（2016 年 3 月策定）

当社グループのサプライチェーンにおけるすべてのパーム油生産に対する「森林破壊ゼロ」「泥炭地開発ゼロ」「搾取ゼロ」(NDPE)へのコミットメントを表明するものです。

<https://www.fujioilholdings.com/news/2016/icsFiles/afieldfile/2018/01/12/160310.pdf>

中長期 KPI

責任あるパーム油調達方針を強力に推進するため、当社グループの目指す姿のマイルストーンとして、2020 年 6 月に中長期 KPI を打ち出しました。

中長期目標	KPI	
	2025	2030
	農園までのトレーサビリティ(TTP ^{※1}): 85% ^{※2}	TTP: 100%
	労働環境改善プログラム(LTP ^{※3})適用率: 100% (パルマジュ エディブル オイル (マレーシア) ^{※4} の全サプライヤー)	LTP 適用率: 100% (全直接サプライヤー)

※1 TTP: traceability to plantation

※2 2020 年 6 月時点の TTP の KPI は 75%です。コミットメントを保証するために上記の通り改訂しました。

※3 LTP: Labor Transformation Program

※4 パルマジュ エディブル オイル (マレーシア): 不二製油グループ本社の 100%子会社の油脂製造拠点

進捗状況

2023 年 6 月までの主な進捗

- 2018 年より 100%の農園までのトレーサビリティ(TTM※1)を達成しています。投資したトレーサビリティ・プログラムは順調に進捗しています。農園までのトレーサビリティ(TTP)の実績は95%でした。
- 労働環境改善プログラム(LTP)は順調に推移しました。コロナ禍明けにサイト訪問が再開されました。KPI の巻き返し途中にあり、本報告期間中は 74%でした。
- 当社グループの調達先の 85%が森林破壊フリーであると確認されました。マレーシアにある精製会社「パルマジュ エディブル オイル」は、100%森林破壊ゼロを達成しました。
- マレーシアの社会的企業 Wild Asia の Wild Asia Group Scheme(WAGS)において、当社グループは 2023 年 12 月までに累計で 1,263農家の RSPO 認証の取得または維持を支援し、81 農家の BIO 農法支援を行いました。

※1 TTM: Traceability to mill

進捗状況

実績データ

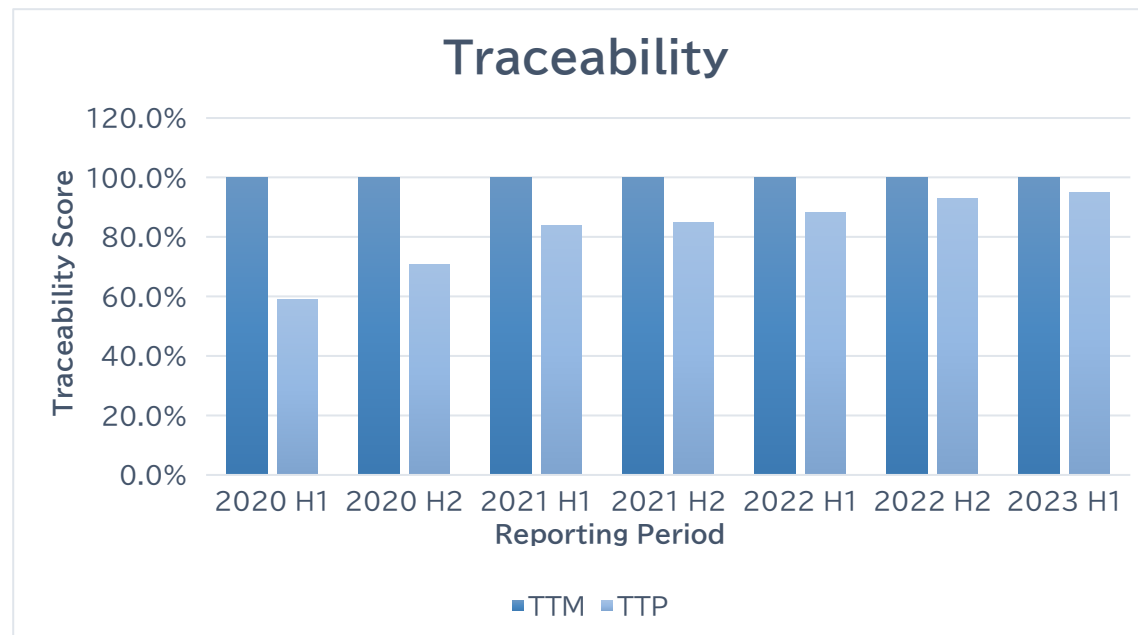
主な ステークホルダー	活動目的		【目標年】 指標	実績			
				2020 (2020年1月～12月)	2021 (2021年1月～12月)	2022 (2022年1月～12月)	2023 (2023年1月～6月)
不二製油グループの サプライヤー、農園、 ディーラー、NGO	不二製油 グループ のパーム油 サプライチ ェーン	トレーサビリティの確保	【2025 / 2030】 TTM 100%/100%	100%	100%	100%	100%
			【2025 / 2030】 TTP 85% /100%	71%	85%	93%	95%
		環境・人権問題の特定	グリーンバンス登録件数※1	108 (2020年4月～ 2021年3月)	39 (2021年4月～ 2022年3月)	47 (2022年4月～ 2023年3月)	103 (2023年4月～ 2024年1月)
				グリーンバンス累計登録件数: 429 件 (2018年5月～2024年1月)			
パルマジュのサプラ イヤー、NGO	パルマジュ のサプラ イチェーン	サプライチェーンにお ける労働条件の改善	【2025年】 LTP 適用率 100% (パルマジュの全サプライヤー)	10%	27%	61%	74%
		サプライヤーの責任あ るパーム油調達状況の 把握	自己評価質問票と行動計画 提出社数	<直接サプライヤー> 搾油工場: 7 農園: 5 <間接サプライヤー> 搾油工場:10 農園: 0	KPIは2021年から以下の通り修正		
			自己評価質問票と行動計画 提出率	KPIは2021年から 設定	<直接サプライヤー> 搾油工場: 100% <間接サプライヤー> 搾油工場: 85% 農園: 24	<直接間接サプライヤー> 88%	<直接間接サプライヤー> 80%
			「森林破壊ゼロ」検証	森林破壊に関与していないこと が確認された購入量の割合	70%	83%	99%
		「森林破壊ゼロ」検証	森林破壊に関与していないこと が確認された購入量の割合	70%	83%	99%	100%
不二製油グループの サプライヤー、顧客	認証パーム油の調達推進		RSPO 認証油取り扱い比率	32%	41%	58%	60%
マレーシア・サバ州の 小規模農家、社会的 企業	RSPO 認証取得支援		RSPO 認証の取得または維持を 支援した累計小規模農家数	423 軒 (2016年1月～ 2021年5月)	703 軒 (2016年1月～ 2022年5月)	908 軒 (2016年1月～ 2023年5月)	1,263 軒 (2016年1月～ 2023年12月)
	BIO 農法支援		BIO 農法に適合した 累計小規模農家数	BIO 農法支援開始 (2020年6月～)	20 軒 (2020年6月～ 2022年5月)	70 軒 (2020年6月～ 2023年5月)	81 軒 (2020年6月～ 2023年12月)

※1 グリーンバンス登録件数：当社グループのグリーンバンス手順書に則り、当社グループのパーム油サプライチェーンに直接的または間接的に関係し、当社グループの責任あるパーム油調達方針に合致しないと判定されたグリーンバンスの件数。グリーンバンスの受付のタイミングにより、公表後に数変動する可能性があります。

進捗状況

1. トレーサビリティ

2023年1月から2023年6月までの期間において、引き続きTTM100%を維持しました。また、同時期のTTPは、2021年84%、2022年88%から、95%に向上しています。近年、自社のサプライチェーン上の搾油工場までのトレーサビリティや搾油工場リスト(ミルリスト)、グリーンバンスリストなどの情報公開を強化するパーム油取り扱い企業が増えています。パートナーと共に、トレーダーやサプライヤーと協力し、グローバルなトレーサビリティスコアを継続的に向上させる計画を進めています。また、TTPスコアを全事業部門で向上させることにも注力しています。



不二製油グループ全体のトレーサビリティスコア

進捗状況

2. パルマジュ社サプライチェーン改善活動(マレーシア)

責任あるパーム油調達方針を実践する戦略として、マレーシアに所在する当社グループの一次精製会社であるパルマジュ社のサプライチェーン上のサプライヤーに対して、Aggregator Refinery Transformation 計画 (ART)を採用しています。2016 年以降、精製会社、搾油工場、農園など、サプライチェーンにおける様々なパートナーの参画が進んでいます。

サプライチェーンにおける優先的なニーズに焦点を当てた、多くの具体的な変革活動を中心に戦略を展開しています。本レポートでは、A.「搾取ゼロ」実践のための取り組み (Labor Transformation Program: LTP)、B. 自己評価ツール、C.「森林破壊ゼロ」実践のための取り組み の 3 つの主要な活動をご紹介します。

A. 「搾取ゼロ」実践のための取り組み (LTP)

今期は、サプライヤー各社の労働慣行の改善に向けた取り組みを継続し、年間 3 社の新規サプライヤーと LTP の適用を目指しています。2023 年 6 月の時点で、パルマジュのサプライヤーの 86%に働きかけ、LTP 適用率は 74%になりました。今後も、搾取ゼロ達成に向けて、サプライチェーン全体で 100%の LTP 適用を目指します。

<https://www.fujioilholdings.com/sustainability/palm oil/>

B. 自己評価ツール

2022 年から、直接サプライヤーの 100%、間接サプライヤーの 86%が自社の取り組みを自己評価しています。2020年には 52%であった間接サプライヤーに継続的な改善がみられます。2018 年以降、搾油工場と農園の参加はほぼ 3 倍になりました。

2023 年上半期、パルマジュ社のサプライチェーン上のサプライヤーは、自己評価ツールを通じ継続して自身の進捗を共有しました。2023 年中に実施される活動は、同年末までに終了しています。この評価結果は NDPE に向けた当社グループのコミットメントの一環として、サプライヤーをモニタリング、支援し、協働するために役立ちます。

<https://www.fujioilholdings.com/sustainability/palm oil/>

進捗状況

C. 「森林破壊ゼロ」実践のための取り組み

マレーシアの Covid-19 の状況や規制が改善されたため、サプライヤーとのエンゲージメントプログラムを全面的に再開しました。主要サプライヤー2 社と再び協働し、森林破壊への関与のないパーム果房(FFB)を調達するための活動を行いました。パルマジュ社のサプライチェーンの100%で森林破壊がないことを確認しました。

https://www.fujioilholdings.com/sustainability/palm_oil/

3. RSPO 認証油の取り扱い

不二製油グループは、パーム油の持続可能な生産・消費体系を構築する趣旨に賛同し、2004 年から「持続可能なパーム油のための円卓会議(Roundtable on Sustainable Palm Oil: RSPO)」に加盟しています。

RSPO は、持続可能な認証パーム油(Certified Sustainable Palm Oil: CSPO)を生産する業界で最も広く認知されている国際的な認証制度です。当社グループは、RSPO の新ルールである「責任の共有原則」を実践し、RSPO 認証油の調達量を年々拡大しています。2023年上半期には、当社グループが扱うパーム油の調達量に占める RSPO 認証油の割合が約 60%になりました。これは、United Plantations Berhad との合併会社であるユニフジ(マレーシア)による供給体制の構築、及び主に欧米市場における需要増が大きく寄与しています。今後は、同じマレーシアにあるパルマジュ社の戦略的サプライヤーと連携を深め、RSPO 認証油の調達量を増やすことで、より多くのお客様のご要望にお応えしていきます。

* 進捗は www.rspo.org/ をご確認ください。

進捗状況

4. グリーバンスメカニズム

「責任あるパーム油調達方針」を実践するための重要な柱の一つとして、2018年5月にグリーバンスメカニズムを構築しました。グリーバンスメカニズムは、人権や環境問題に関わらず、不二製油グループやサプライチェーンに対して何らかの苦情があった場合に、ステークホルダーや利害関係者が当社グループに苦情を申し立てる窓口になっています。当社グループは、提起された苦情の妥当性を確認した後、「責任あるパーム油調達方針」に基づいて、サプライヤーとのエンゲージメントを行い、適切な是正措置を講じます。

2020年度からは、パーム油のサプライチェーンにおける森林破壊のモニタリングを支援する衛星通信会社の Earthqualizer と提携しています。このパートナーシップにより、インドネシアとマレーシアの当社グループのサプライチェーンで発生した森林破壊を特定し、モニタリング、対処、検証することが可能になります。この情報を利用することで、サプライヤーと解決策を検討し、ステークホルダーとより効果的なコミュニケーションを図ることができます。

2022年初頭から、NPOの Earthworm Foundation と協力してグリーバンス対応の改善にも取り組んでいます。この協力を通じて、当社グループはパーム油のサプライチェーンに関連する事例報告を受け、サプライヤーに事例を提起し、グリーバンスに確実に対処しています。今後も継続的に案件をモニタリングし、NDPEコミットメントの一環として、サプライチェーン内で提起された問題に対処していきます。

2024年1月末までに累計429件のグリーバンスを登録し、その約30%が解決済みです。

https://www.fujioilholdings.com/en/sustainability/grievance_mechanism/

進捗状況

5. APT ランドスケープイニシアチブ(インドネシア、アチエ)

KPIダッシュボード				
		2023年 KPI	2023年6月時点進捗	KPI進捗率(%)
ステークホルダー支援	2地区での共同行動計画実施	2	4	100%
	2地区でのNDPE/土地利用に関する規制/方針の更新	2	1	50%
森林保護	100% HCV/HCS※1と特定された企業数	6	3	50%
	現地規制により保護されているHCV/HCSのヘクタール	3,750	12,805.21	100%
強靱(レジリエント)な農家	パーム油のGAP※2について研修を受けた農家数	1,500	820	55%
	代替生計活動実施支援を受けた農家のビジネスユニット数	3	2	67%
労働者と家族	企業や政府との活動を通じて直接・間接的に協働する労働者数	600	87	15%
コミュニティの権利	参加型の地図製作と土地所有権調査(PM-LTS)に協働する村落数	15	11	73%
	紛争管理プロセスを通じて管理される紛争数	6	2	33%

※1 HCV/HCS: High Conservation Value(高保護価値)/High Carbon Stock(高炭素貯蔵)

※2 GAP: Good Agricultural Practices(農業生産工程管理)

進捗状況

2018 年より、重要な調達先であるインドネシアにおいて、森林破壊を減らし、持続可能な商品生産、保全、良好な社会・労働慣行の実行可能性を大規模に実証するために、Earthworm Foundation を通じてアチェ・タミアン地域のランドスケープイニシアチブに参画しています。

2021 年に、このプログラムの対象地域は、インドネシアの最北端のアチェ州の約 70%をカバーする約 390 万ヘクタールの広大な地域に拡大されました。この地域には 12 の県があり、その中心には世界で最も貴重な熱帯雨林の 1 つであるルセルエコシステムがあります。このプログラムは、パーム農園だけでなく、指定地域全体を改善するためのマルチステークホルダーによる協働として設計されました。

2023 年 6 月時点の進捗は以下の通りです。

- 天然資源と環境管理に焦点を当てた 2 つのマルチステークホルダー作業部会が 2 地区(Subulussalam と Aceh Singkil)に設立されました。これらの作業部会が共同で行った主要な活動の一つであり、Subulussalam と Aceh Singkil における持続可能なパーム油のための地域行動計画の策定に寄与します。
- 少なくとも企業 20 社が、HCV(高保護価値)/HCS(高炭素貯蔵)管理に関する研修を受けました。そのうち 6 社は HCV/HCS 評価を完了し、3 社は現在 HCV 地域の管理とモニタリングを実施しています。
- 参加型の土地利用計画(PLUP)の調査と実施に基づき、Subulussalam の 8 つの村の合計 34,957.4ha が保護され、既に 6 つの村でパブリックコンサルテーションが実施されました。
- ランドスケープアプローチは、参加型の地図製作と土地所有権調査(PM-LTS)のプロセスを完了するために 11 の村を支援しました。その結果、コミュニティの土地所有権の合法性が 30%は確保されていること、50%は合法性がないために土地所有権がまだ確保されていないこと、20%が紛争中となっていることが判明しました。Earthworm Foundation はこの状況を改善するため、地方政府が代替政策を策定することを支援し、政府と企業に対して紛争解決に関する研修を実施しました。
- ランドスケーププロジェクト開始以来、延べ 820 農家がパーム油の GAP(農業生産工程管理)の研修を受け、2 つの農家のビジネスユニットが農家の所得向上のための代替生計活動の実施と収穫物のマーケティング改善について支援を受けました。
- 企業 6 社は、ランドスケープ内のパーム油サプライチェーンで働く延べ 2,373 人の労働者に対し、労働搾取のリスクを低減し、労働者の権利を改善するための支援を受けました。さらに、人事部も、労働者の権利侵害がないかどうか定期的に監視する訓練を受けました。

進捗状況



慣習的な権利に関する議論と土地所有権に関する紛争解決



農業実践から農作物ビジネスまでの生態系の学習

進捗状況

5. APT ランドスケープイニシアチブ(マレーシア半島、サザン・セントラル・フォレスト・スパイン: SCFS)

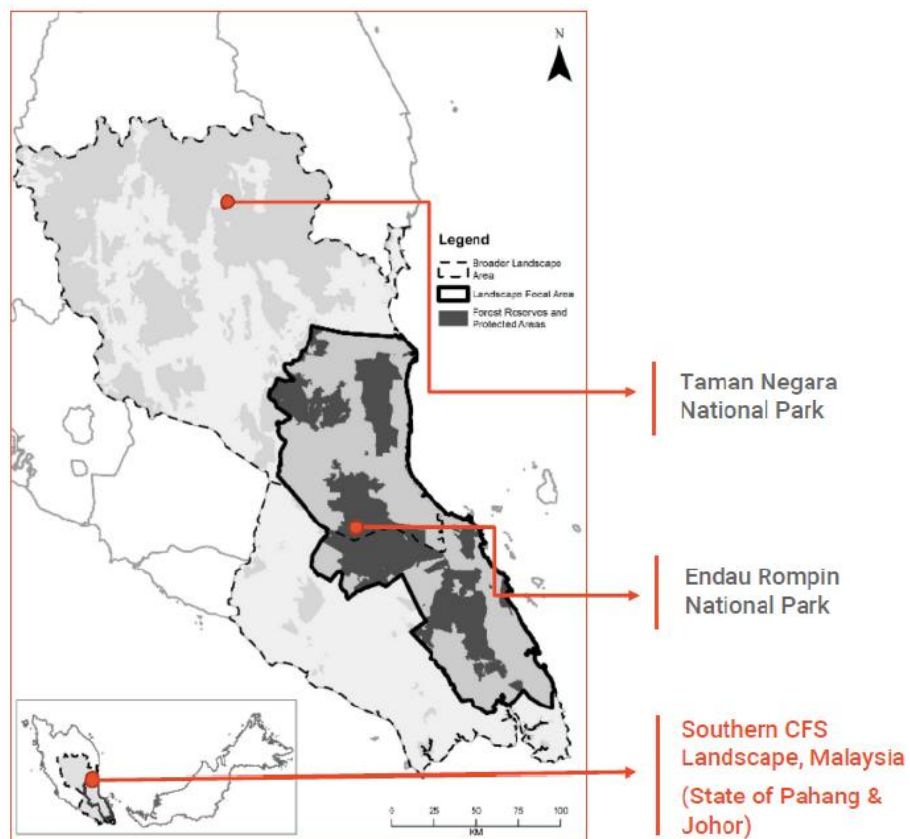
KPIダッシュボード				
		2023年 KPI	2023年6月時点進捗	KPI進捗率(%)
サプライチェーンの変革	農園までのトレーサビリティ100% 達成へ向けた搾油工場の進捗	90	65	72%
	社会環境コミットメントの進展に 取り組む搾油工場	15	0	0%
森林保護	残された森林地域の保護に繋がる エンゲージメントにより保護された ヘクタール	7,500	10,000	100%
	人間と像の共存プログラムにより保護 されたヘクタール	2,000	1,500	75%
強靱(レジリエント)な農家	エンゲージメントを受けた小規模農家	500	254	51%
	小規模農家向けのキャパシティビル ディングセッションの実施	17	6	35%
	コミュニティマップ作成研修に 参加した村落	1	1	100%
労働者と家族	直接的・間接的に影響を受けた労働者	1,000	260	26%
	労働意識の向上と能力開発に 取り組む企業	36	1	3%

進捗状況

サザン・セントラル・フォレスト・スパイン(SCFS)ランドスケープを重点変革エリアのひとつに掲げています。2022 年初頭より、NDPE 基準への前進を目指し、Earthworm Foundation を通じてランドスケープの取り組みをさらに支援しています。SCFS ランドスケープにおけるパーム油のサプライチェーンは相互に関連しており、ランドスケープ内の複数のステークホルダーと連携し、ディーラーの関与、労働慣行、人間と野生動物の共存を通じた TTP に関連した変革を推進することが重要です。

2023 年 6 月時点の進捗は以下の通りです。

- SCFS ランドスケープ内の搾油工場の合計72%は、農園までのトレーサビリティ(TTP) 100%を達成しました。
- 残された森林地域の保護に繋がる森林破壊モニタリングとエンゲージメントにより 10,000ha が保護されました。
- 2023 年初頭から、人間と象の共存プログラムにより 1,500ha が保護されました。
- 合計 254 人の小規模農家が、所得の多様化とキャパシティビルディングのセッションを通じて支援を受けました。
- 2023年初頭から、先住民コミュニティの土地所有権向上のためのコミュニティマップ作成研修、コミュニティマップとマッピング・モジュールの開発 1 村落が参加しました。
- 小規模農家の労働慣行改善だけでなく、強制労働の認識、グリーバンスメカニズムの設置に関して、企業や主要政府機関のキャパシティビルディングを支援することで、2023 年初頭からランドスケープ内の 260 人の労働者に影響を与えました。不二製油グループ、マレーシアパーム油認証評議会(MPOCC)、マレーシアパーム油庁(MPOB)と共同で、Earthworm Foundation が TTP100%達成のギャップを埋めることを目的に、当社グループのサプライヤーを含むジョホール州のパーム果房(FFB)ディーラーを代表する 80 人を対象に、トレーサビリティワークショップを実施しました。
- 人的資源省との協力とプランテーション商品省の支援により、強制労働と児童労働に反対する「ゲット・イット・ライト」イニシアティブが組織されました。
- グリーバンスに発展する前の、潜在的リスクを検知する早期警報システムのコンセプト策定に関するキャパシティビルディングワークショップに、これまで 92 人が参加し、近隣の 7 つの農園と協力して現地管理委員会に参加しました。



EUDR & Sawit Intelligent Management System (SIMS)に関する MPOB とのステークホルダーミーティング



パーム果房(FFB)ディーラーとのトレーサビリティに関する話し合い

進捗状況

6. 小規模農家支援

2016 年 1 月より、他企業と共にマレーシアの社会的企業である Wild Asia が主宰する小規模農家の支援組織 Wild Asia Group Scheme (WAGS) に参画しています。プロジェクトの詳細は[サステナビリティレポート 2023](#)をご覧ください。

認証取得支援プロジェクトでは、WAGS の現地チームが、サバ州の WAGS 参加小規模農家の MSPO と RSPO 認証ステータス維持を支援しました。さらに、300 軒以上の小規模農家が、研修や文書化により新規で RSPO 認証を取得する準備ができました。当社グループが認証取得支援を行った小規模農家の総数は、2016 年以降累計で 1,263 軒にのぼります(2023 年 12 月時点)。

WAGS BIO プロジェクトでは、Wild Asia によって定義された基準を満たす「BIO 農家」軒数が、サバ州において 81 軒に達しました(2023 年 12 月時点)。2023 年第 2 四半期(4 月～6 月)において、WAGS BIO チームは BIO 農法の導入とベースラインデータ収集のために、新規の農家とのエンゲージメントに注力しました。啓発活動だけでなく、生姜の間作や有機廃棄物を利用したフルーツ酵素作りの研修など、現場での技術的な BIO 支援を行いました。

Wild Asia との第 2 期のプロジェクトパートナーシップ(2020 年 6 月～2023 年 5 月)では、COVID-19 の制約がある中、他のパートナーとの連携により、認証に関する安定した支援が提供され、BIO 農法を適用する農家が大幅に増加しました。第 3 期のプロジェクトパートナーシップ(2023 年 6 月～2025 年 7 月)では、認証取得支援を継続するとともに、WAGS BIO 農家における環境再生型農業の実践をより支援することに注力していきます。

進捗状況



Wild Asia による WAGS BIO 農家での
生姜の間作のための農園整備支援



キノコを見せる
WAGS 農家の Nisa Usman 氏とその家族



Wild Asia による潜在的な BIO 農家訪問とエンゲージメント



フルーツ酵素作りに関するワークショップ参加者の様子

お知らせ

今後の進捗報告予定:

- ・2024 年度上期:サステナビリティレポート 2024 発行
- ・2024 年度下期:責任あるパーム油調達方針進捗レポート発行